

資料 4

「元気発進！子どもプラン」第3次計画の評価方法について 【R元.11.7 子ども・子育て会議意見】

1	基準値の 設定方法	●基準となるある年度の数値が「外れ」の場合、評価がぶれてしまう。 ●学術分野においても、ばらつきがあるデータを整えるため、過去3～4年の平均値を（基準値として）使用することは良くある。これにより、飛びぬけた変な数字に引っ張られずに済む。
2	データの 少ない指標	●評価するために、基準値や目標が必要になることは理解している。 ●これからデータを蓄積する段階の指標は、限りあるデータの中から基準値を設定するしかないが、これのみに囚われることなく、広い視点を持ってやってもらいたい。
3	基準値自体 の点検	●一旦基準値を設定しても、その基準値が妥当であったかということについて、点検を行うことは必要。 ●状況によっては、基準値自体を見直すことも検討したほうが良い。
4	全国比較 など	●一定の水準から改善したか、という視点で評価を行うこと自体は否定しないが、例えば全国的に使用されている指標は、比較することで視野が広がる。 ●今後は、全国数値との比較なども必要になってくるのではないかな。